

2025年10月30日
株式会社日立ソリューションズ

機密情報を生成AIで安全に扱える「Alli LLM App Market」で、PoCから本番適用まで支援

利用環境を柔軟に選択して生成AIアプリケーションやAIエージェントを検証できるPoC支援モデルを提供開始



- オンプレミス環境やプライベートクラウド上に機密情報を保管したまま安全にPoCを実施可能
- 初期投資を抑えて性能や運用を確認でき、必要に応じてそのままの環境で本番運用に移行可能
- お客様がご契約中のプライベートクラウド環境、LLMを選択可能
- 100種類以上の生成AIアプリケーションや対話で欲しい情報を引き出せるAIエージェントを利用可能

「Alli LLM App Market」PoC支援モデルの概要

株式会社日立ソリューションズ（本社：東京都品川区、取締役社長：森田 英嗣／以下、日立ソリューションズ）は、Allganize Japan 株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役 CEO：佐藤 康雄／以下、Allganize）のオールインワン生成AI・AIエージェントプラットフォーム「Alli LLM App Market」について、初期投資を抑えて性能や運用を確認でき、そのまま本番適用も可能なPoC（Proof of Concept）支援モデルを、10月31日から提供開始します。

クラウドファーストで生成AI活用が進む中、技術情報や取引内容といった機密性の高い社内データへの適用が課題となっています。本モデルでは、オンプレミスやプライベートクラウド環境でセキュリティを確保しながら、100種類以上の業務ごとに用意された生成AIアプリケーションや、対話を通じて欲しい情報を引き出せるAIエージェント「Agentic RAG^{*1}」とのやり取りを試すことができます。

日立ソリューションズは、「Alli LLM App Market」を全社で導入し、自社業務に合わせて生成AIアプリケーションのカスタマイズも行っています。このノウハウを生かし、セキュリティ対策や周辺システムとの連携も含め、社内データの活用における生成AIの安全な適用を支援します。今後も、「DX by AX toward SX」をコンセプトに、AIの活用を通じたDXをベースに変革を推進し、価値創出と持続可能な社会の実現に貢献していきます。

*1 ユーザーの質問内容に関連する情報を指定されたデータベースから検索し、回答を生成する従来型のRAG（Retrieval-Augmented Generation：生成AIの回答精度を向上させる技術）に加え、意図を明確化するための聞き返しや、より良い回答を導くための提案を行うなど、自律的な思考によって業務を遂行するAIエージェント

「Alli LLM App Market」PoC支援モデルの特長

1. お客様のオンプレミス環境もしくはプライベートクラウド環境に機密情報を保管したまま、安全に性能や運用を事前確認可能
2. 初期投資を抑えて性能や運用を確認でき、そのままの環境を本番運用に適用することも可能

- 利用する LLM は、Allganize が提供する生成 AI（オンプレミス LLM）に加え、お客さまが契約中の生成 AI サービスも選択できるなど、PoC 環境をお客さまの要望に合わせて柔軟に選択可能
- すぐに業務適用可能な、議事録作成や営業支援、契約書の法務チェックといった 100 種類以上の業務特化型の生成 AI アプリケーションに加え、インタラクティブな会話が可能な AI エージェントである「Agentic RAG」も利用可能

今後の取り組み

日立ソリューションズは、企業のビジネスデータ活用を長年支援しており、自社ソリューションの「[活文](#)」に加え、より社内情報を利活用すべく生成 AI や AI エージェントの活用にも取り組んでいます。今後は、「活文」と「Alli LLM App Market」との連携を強化し、社内に散在する膨大なデータを、生成 AI や AI エージェントが活用可能な形へと効率的に整備するなど、生成 AI を用いた業務効率化の取り組みに貢献していきます。

背景

人手不足や技術継承の課題が深刻化する中、企業が独自に蓄積したナレッジを生成 AI で有効活用して、業務の効率化や製品、サービス品質の向上を通じて競争力強化につなげたいというニーズが高まっています。しかしながら、生成 AI 活用を支援するサービスがクラウド上で提供されることが多い中、情報漏洩リスクへの懸念と個人情報保護の観点から、機密性の高い情報に対して本格的な導入に踏み切れない企業も少なくありません。専門人財の不足、コストや負担の大きさも課題です。

こうした課題への対応策として、日立ソリューションズは Allganize と連携し、プライベートクラウド環境やオンプレミス環境で機密情報を安全に扱える「Alli LLM App Market」の PoC 支援モデルを提供することにしました。

「Alli LLM App Market」について

「Alli LLM App Market」は、企業の生成 AI 活用に必要な要素をすべて備えたオールインワンプラットフォームです。各業界トップ企業をはじめ 300 社を超える企業に採用されています。OpenAI 社の GPT シリーズ、Microsoft 社の Azure OpenAI 各モデル、Google 社の Gemini シリーズ、Anthropic 社の Claude シリーズなど、用途に応じたモデルをお選びいただけます。また、すぐに利用できる 100 種類以上の生成 AI アプリケーションや AI エージェントが用意されていることに加え、ノーコードで独自の AI アプリケーションや AI エージェントを作成することもできます。²

<https://www.hitachi-solutions.co.jp/allganize/>

*2 「Alli LLM App Market」は、SaaS（Software as a Service）での提供も可能です。

Allganize Japan 株式会社 代表取締役 CEO 佐藤 康雄 氏からのエンドースメント

「このたび、日立ソリューションズと連携し、お客さまが安心して、よりセキュアに生成 AI を活用できる環境を提供できることを大変嬉しく思います。『Alli LLM App Market』は、業務にすぐに使える多彩な生成 AI アプリと、社内データを生かした高度な AI エージェント機能を備えており、企業の業務効率化と意思決定の高度化に貢献します。日立ソリューションズの豊富なシステム構築のノウハウと、厳格なセキュリティ要件への対応力を掛け合わせることで、これまで導入に踏み切れなかったお客さまにも、より安全かつスムーズに生成 AI の PoC を開始いただけだと確信しています。今後も両社の強みを生かしながら、お客さまの DX と持続的な成長を支えるソリューションを共に展開してまいります。」

Allganizeについて

Allganizeは、「AIによって全てのビジネスのワークフローを自動化・最適化する」というビジョンのもと、日本、米国、韓国を中心に、グローバルで企業向けのオールインワン LLM ソリューションを提供しています。グローバルマーケットでの事業経験豊富なメンバーによって創業した Allganizeは、国内外の投資家に支えられ、東京（日本）、ヒューストン（米国）、ソウル（韓国）に拠点を構え事業を展開しています。

詳しくは、Allganize のウェブサイト(<https://allganize.ai>)をご覧ください。

日立ソリューションズについて

日立ソリューションズは、お客さまとの協創をベースに、最先端のデジタル技術を用いたさまざまなソリューションを提供することで、デジタルトランスフォーメーションを実現します。欧米、東南アジア、インドの各拠点が連携し、社会や企業が抱える課題に対して、グローバルに対応します。

そして、人々が安全にかつ安心して快適に暮らすことができ、持続的に成長可能な社会の実現に貢献していきます。

詳しくは、日立ソリューションズのウェブサイト(<https://www.hitachi-solutions.co.jp/>)をご覧ください。

日立ソリューションズの AX の取り組みについて

日立ソリューションズグループは、IT人財不足に備えた生産性向上、市場での競争力強化に向けて、「DX by AX toward SX」というコンセプトの下、国内外の拠点の従業員全員が AI や生成 AI、AI エージェントを活用し、高い付加価値を創出することをめざしています。

具体的には、AI エージェントや生成 AI を活用した開発のユースケース、よくある社内問い合わせ対応など、特定の業務向けのチャットボットが集約されたイントラの専用サイトも整備しています。また、活用促進に向けて、アイデアや事例を募集する全社コンテストも開催しています。

ソリューションに関するお問い合わせ先

株式会社日立ソリューションズ

<https://www.hitachi-solutions.co.jp/inquiry/>

報道機関お問い合わせ先

担当：秋山、大鳥

株式会社日立ソリューションズ

経営戦略統括本部 経営企画本部 広報部

koho@hitachi-solutions.com

※ Google Cloud および関連するサービスは、Google LLC の商標です。

※その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL など)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
